

令和7年度 小規模多機能型居宅介護事業所 やよいの里 事業計画

【法人理念】

老いても 人生をエンジョイできる 地域社会の創造

【事業所理念】

住み慣れた地域で 自分らしく いつまでも

【事業目的】

介護保険法の理念に基づくと共に、地域の高齢者がその人らしい生活を送れるよう老化や疾病に伴い介護を必要とする方に対して小規模多機能型居宅介護を拠点として支援することを目的とする。又、障害者総合支援法の理念に基づき、基準該当生活介護サービスを提供する事業所として小規模多機能型居宅介護を拠点とし、障害のある方を支援することも目的とする。

【事業目標／事業方針】

◎やよいの里の登録定員、平均 25 名以上を目標とします。

事業目標	事業方針
住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援を行います。	○利用者が、住み慣れた地域で安心した生活ができるよう、地域資源の活用と連携を図り、ニーズに沿って、より柔軟な対応のできる事業所を目指す。また利用者、地域の高齢者が、継続して、地域での役割や生きがいを持ち続けられるように支援や協力を行う。 ○研修計画に基づく施設内研修や施設外研修へ職員が全員参加できるようにし、ケアの標準化及び介護職員及びその他の職員の資質向上に努める。 ○職員評価を実施し、人材育成に努める。
地域との連携を図ります。	○日常での関わりや運営推進会議等を活用し、利用者・家族・地域からの要望、困りごと等を職員全体で考え、地域との支援協力を強化できるよう努める。 ○適宜、地域包括支援センターや行政との連携を図り、よりよいサービスが提供出来るよう努める。 ○地域において世代間の交流の場の拠点となるよう活動を行う。 ○法人の地域貢献活動事業計画に基づき、法人として活動を行う。

防災・感染症対策に取り組めます。	○感染症・自然災害発生時に備え、BCP 計画を作成、周知する。福祉避難所としての役割を職員全体で周知し、地域の方と一緒に防災訓練に取り組む。 ○職員への感染症に関する知識習得と、利用者・家族に予防啓もうを実施し、感染症予防に努める。万が一感染症が発生しても、福祉・介護の機能が停止することがないように対応を行う。
看護小規模多機能型居宅介護への転換にすすめます。	○セミナー等を受講し、看護小規模多機能型居宅介護の仕組みや現状について理解する。地域密着型サービスとして、地域性に応じて事業所の特性を活かせるか等分析し、転換に向けた準備を行う。